

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	ひとり親家庭支援事業	担当課	福祉課
細分化した事業名			

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり	
	政策	子どもを安心して生み、育てられる社会の実現	
	施策	子育て支援の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市生活福祉資金等利子補給条例 韮崎市祖父母孫家庭等応援助成金の支給に関する要綱

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	ひとり親家庭への生活・自立支援、親のいない子を養育している祖父母等への支援 1 母子・父子世帯小中学校進入学祝金支給事業 2 福祉資金利子補給補助金支給事業 3 祖父母孫応援助成金支給事業
事業の手段	1 母子・父子世帯への小中学校進入学祝金の支給 小・中学校入学時 10,000円/1人 2 母子寡婦福祉資金借入者への利子補給 3%限度に利子分を助成 3 児童を養育している祖父母等への 第1子 10,000円/月 第2子以降 5,000円/月
事業の対象	母子、寡婦及び父子、児童を養育している祖父母等

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	739	520	739
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	739	520	739
B	担当職員数(職員E) (人)	0.27	0.27	0.27
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,841	1,805	1,753
D	総事業費(A+C) (千円)	2,580	2,325	2,492
主な事業費用の説明	H23 利子1件 49 祖父母1件 180 入学51件 510 計739 H24 利子0 祖父母1件 40 入学46件 480 計520 H25 利子2件 29 祖父母2件 250 入学45件 460 計739			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 入進学祝金	支給対象者数	51	46	45
	2 利子補給補助	利子補助金支給対象者数	1	0	2
	3 応援助成金	助成金支給対象者数	1	1	2
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	小中学校等への確認や広報を通じて制度を周知し、対象者の把握に努めている。			
	2	社会福祉協議会を通じて事業を周知し、対象者の把握に努めている。			
	3	民生委員や小中学校等を通じて制度を周知し、対象者の把握に努めている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	入進学祝金	支給額	510	460	460
	2	利子補給補助	支給額	48	0	28
	3	応援助成金	支給額	180	40	250
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	対象者の把握に努め、申請者に支給出来ている。				
	2	対象者の把握に努め、申請者に支給出来ている。				
	3	対象者の把握に努め、申請者に支給出来ている。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等 の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 利子補給事業については、福祉課内で担当ごと異種同様の利子補給事業を行っていたが、葦崎市生活福祉資金等利子補給条例を改正し、生活保護担当において支給事務を行うこととした。 次世代育成支援対策推進法が一部改正され、平成26年10月から、父子家庭に対する支援の拡充として、父子福祉資金制度が創設されますので、条例を改正し利子補給の対象とします。
過去の改善経過	特になし
課長所見	引続き制度の周知を図り対象世帯の把握に努め、ひとり親家庭等の支援を継続する。